

ズバリ40系アル／ヴェルが ターゲット！



【ワーク イミッツ シュトラール】

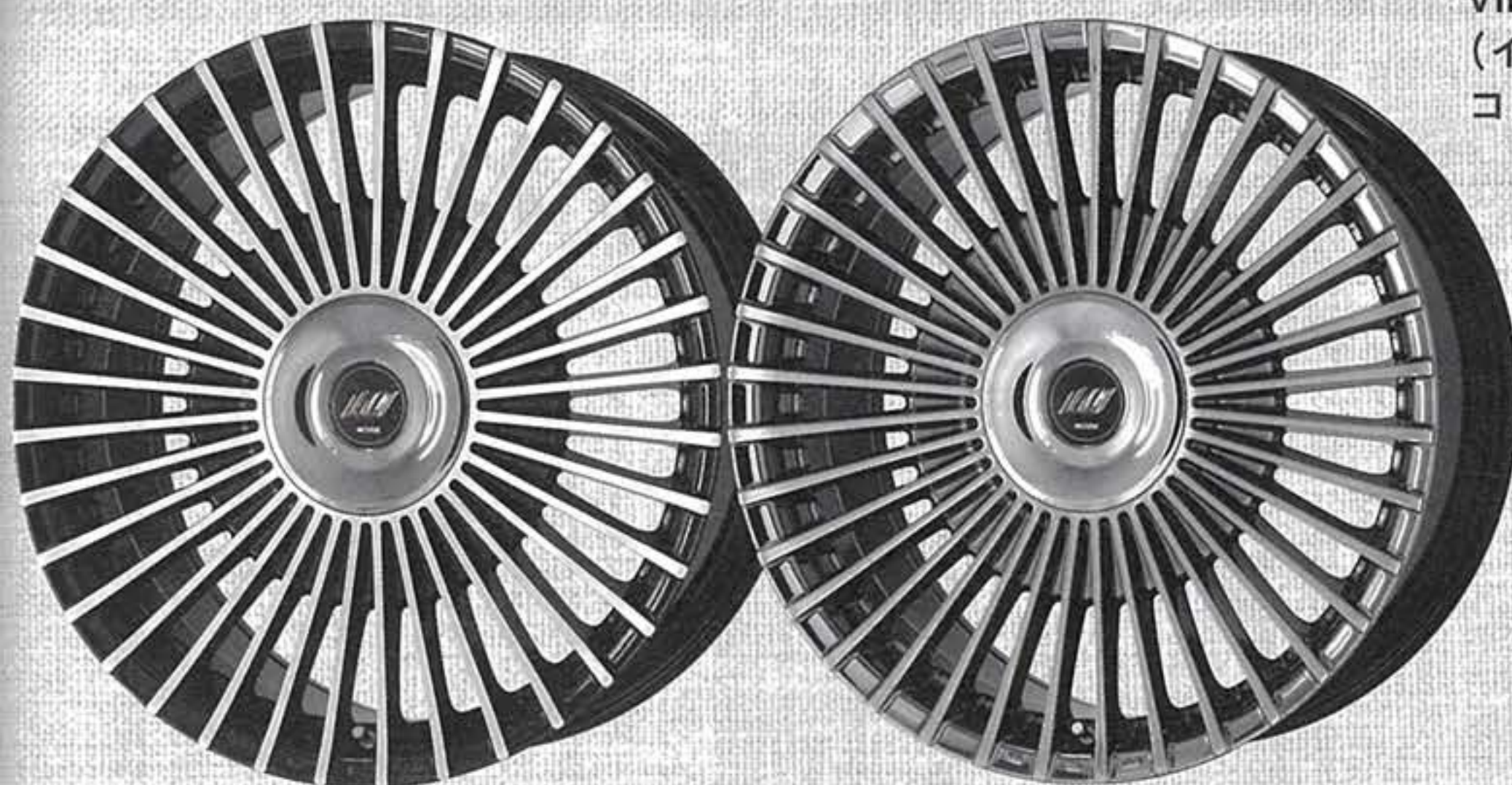
文＝湯目由明 text by Yoshiaki Yunome
写真＝ワーク photo by WORK

WORK EMITZ STRAHL

VIPカーの世界で絶大な人気を誇るEMITZ
(イミッツ)。トヨタ／レクサス車専用設計を
コンセプトにしたモデルが新たに登場した！

Sponsored by ワーク www.work-wheels.co.jp/
☎048-688-7555 (東日本コールセンター)
☎06-6746-2859 (西日本コールセンター)
☎052-777-4512 (中日本コールセンター)

価格：6万4900円 (20×8.5J、ブラックカットクリア・BP)～8万
6900円 (21×9.0J、ワークブラックメタルコート・WBC) サイズ：
20×8.5J・インセット42、P.C.D.120、5H / 21×9.0J・インセッ
ト42、P.C.D.120、5H カラー：ブラックカットクリア・BP、ワ
ークブラックメタルコート・WBC



ブラックカットクリア・BP

ワークブラックメタルコート・WBC

●繊細な36本のフィンデザインと、上品なメッキ仕上げのセンター
キャップがラグジュアリーミニバンの足元をきらびやかに演出する



●30→40系への
乗り替えにも対応
するマルチP.C.D.
を採用。RAV4や
ハリアー、クラウ
ンスポーツ、レク
サスLBXなどにも
装着可能

36本のスポークが足元で輝く
初代はアルファードのエアロ仕様として登場したヴェルファイア。カスタムニーズに応える存在感の強さは現行型の40系でも不変で、標準ホイールが全車19インチ（アルファードはエグゼクティブラウンジのPH EVのみ19インチ）なのは、両車のキャラクターの違いを表している。
最近の高級車は大径タイヤ＆ホイールがトレンドで、40系アル／ヴェルのチーフエンジニアも「外形デザインは19インチタイヤがマスト」と言い切るほど。ボディマスの大きなクルマには、足元の力強さを演出する大径タイヤの存在が欠かせない。
40系アル／ヴェル、レクサスLM500hをメインターゲットにしたイミッツ シュトラールは、ラグジュアリーミニバンの足元にふさわしい洗練されたフィンデザインを採用。バランスの取れた36本の繊細なスポークが視覚的な軽快感をもたらすとともに、リムフランジの先端までスポークを伸ばすことで、実際のサイズよりも1サイズ大きく見える効果もある。スポーク自体が緩やかなコンケイブ（逆Zリ）を描いて、ダイナミックな立体感を表現している。
トヨタ／レクサス専用設計なのも特徴だ。ハブ径はトヨタ専用のφ60mmで完璧なフィッティングを実現。センターキャップはトヨタ、レクサスの純正キャップを装着できる。
さらに、先代の30系オーナーが将来40系に乗り替えることも想定して、30／40系アル／ヴェル双方に履けるマルチP.C.D.を採用。720KGの高荷重に対応し、車重の重い4WD車にも安心して装着できる。